

# 平成26年度 学校評価実施報告書

学校名( 京都市立静原小学校 )

## 1 平成26年度 重点評価項目

1. 確かな学力の育成(自ら学び、自ら行動していこうとする学習活動)
2. 豊かな心の育成(自分の目標を持ち、目標に向かって頑張る子)
3. 健やかな体の育成(基本的生活習慣の確立、体力の向上)

## 2 1回目評価

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定				・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価	学校関係者評価	
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	評価日 平成26年9月25日  評価者・組織 学校評価委員会	評価日 平成26年10月7日  評価者(いずれかに○) 学校運営協議会 学校評議員	
1 確かな学力	主体的に考え、表現し、伝えられる能力の育成 読書の習慣化	自覺的実行力の意識化を図り、主体的な学びの構築する・個の見取りの読み書きの定着 朝読書の確実な実施	児童の話す・聞く態度の変容・児童の学習意欲の変容 読書に対する意識・意欲の変容・読書冊数・移動図書館等貸し出し状況	児童は、勉強が分かると回答・ねばり強く学習できていないと回答 読書冊数は、昨年度より全体数は増加しているが、伸びていない児童もいる	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静原タイムや校外での発表機会の活用により、発表することや発表を聞いての感想交流が充実するようになってきている。</li> <li>・読書冊数は増加している。</li> <li>・ねばり強く学習に向かうこと、自分の学習課題をしっかりと学習に向かうことが課題となる。</li> </ul>	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の中で自分の学習課題をしっかりと持ち、自ら探究しきる学習活動を進める取組をさらに充実させる。</li> <li>・「自学自習のすすめ」を個別懇談会等で活用する。</li> <li>・宿題の出し方・量について見直す。</li> </ul>	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝承太鼓など地域ならではの活動を児童が伝承していくようにさらに充実させてほしい。</li> <li>・目的意識をしっかりと持たせることや意図的に教師が本に出会わせる学習を進めて本に向かうことが増える。</li> </ul>
	家庭学習の習慣化	学校だよりによる啓発活動	家庭学習の習慣化の変容	児童は、家庭学習をしているが、保護者から見た習慣化の実現度は低い			<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動だけでなく、いろいろな学習への協力をしていきたい。</li> <li>・読書の習慣化については、いろいろな指導法を紹介していく。</li> </ul>
2 豊かな心	望ましい言葉づかいや挨拶の徹底 やらなければならないことやりたいことへの意欲向上	いろいろな場面での発信と地域ぐるみの取組 ボランティア活動の実践 自覺的実行力の実践奨励	子どもが進んで挨拶をすること・丁寧な言葉づかいをすること 家の仕事の手伝いをすること	あいさつの実現度は高い。言葉遣いの実現度は低い 児童の実現度は高いが、大人から見た実現度は低い	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉づかいや挨拶などの実現度は児童に比べて、大人から見た実現度は低い。</li> <li>・自覺的実行力を意識して、自らボランティ活動をしたり、気づいたことの改善行動を進んでする場面が多くなっている。</li> <li>・行動目標を言葉にして絶えず意識させると効果となつて表れる。</li> </ul>	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉づかいについては、見逃さない指導を徹底する。校内での共通行動をする。</li> <li>・自覺的実行力の実現場面の紹介を進める。個の見取りの充実。</li> <li>・ボランティア活動、体験活動への積極的な参加を勧める。</li> </ul>	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の学習場面では、しっかりした質問を児童はしてくる。中身もあり、体験活動も充実しているものと思われる。</li> <li>・児童と地域と一緒に活動する場面でよく児童の事が分かるようになっている。</li> </ul>
	協働活動を通して豊かな心の育成	・人権の木の取組～行動 ・きまりや約束を守ること ・保護者・地域との体験	・人を大切にすること ・きまりや約束を守ること	「できている」児童の割合は高い。大人からの評価は、高くな			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動や体験活動などは、学校運営協議会がサポートしていく。</li> </ul>
3 健やかな体	基本的生活習慣の確立	早寝・早起き・朝ごはん・歯磨きの呼びかけ	早寝・早起き・朝ごはん・歯磨きなどできていますか	実現度は、高い・早寝の実現度は低い	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早起き・朝ごはん・歯磨きはさらに実現度を上げていきたい。早寝がまだである。</li> <li>・みんなで元気に体を動かすことが確実に進められるようになることが課題となる。</li> </ul>	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健室だけでなく、学級通信等でも積極的にトピックとして取り上げる。</li> <li>・休み時間の楽しく体を動かす活動が確実に進むように学校全体で児童を見取り声かけをする。</li> </ul>	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寝るのが遅く、起きるのが早いと睡眠時間は確保できない。学習に集中できないことや精神的に不調にならない心配。</li> <li>・学校に楽しく通えることは大事なことである。</li> </ul>
	体力の向上	・遊びやスポーツを通じた運動の習慣化 ・運動交流に向けた取組	・元気よく運動したり遊んだりしていますか・交流会への参加状況及び体力テストの結果	・運動をする実現度は高いが下がり傾向 ・児童数は参加している			<ul style="list-style-type: none"> <li>・寝る時刻を一定の時刻にして睡眠時間を確保し、楽しく元気に学校に通えるように保護者への発信をさらにお願いしたい。</li> </ul>
4 独自の取組	安全で学習しやすい環境であること	・教職員、PTA、地域と共にする環境整備 ・見守り活動 ・学校を使っての様々な取組の実施	・学習しやすい環境であること ・学校が安全であること	・取組の充実、回数も多く人的環境協力体制が確立している ・教室や校地には限りがあり、広くならないが、整備している	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習環境、安全については整備されたり地域協力を得られたりできている。</li> <li>・ホームページについては、各担任の更新が増加し、閲覧状況が伸びている。</li> </ul>	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より良い学習に向けて、地域の方々の協力はありがたい。うまく協力していただけるように計画的に進める。</li> <li>・ホームページは、学年からの発信を増やす方向で更新頻度をさらに上げ、見てももらえるような情報発信を保護者・地域に行う。</li> </ul>	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車の運動場への乗り入れについて教室と同じように運動場も大事な学習環境であるという認識のもと、進めてほしい。</li> <li>・ホームページは見て楽しい内容になっている。</li> </ul>
	情報発信の充実	積極的なホームページの更新	学校ホームページへのアクセス数	今年度(前期)の年間アクセス数5900回			<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動場や校舎等を地域と共に利用するとき、利用の在り方にについて、児童が学習する神聖な場として意識で活用できるように進めていきたい。</li> </ul>